

【開講日】平成29年10月4日（水）

あき 三鷹サテライト教室

文学

三鷹

292032

# 『奥の細道』を読む

— 芭蕉と辿る時空を超えた旅(北陸路) —

受講料 (振込額)	9,000円				
必携テキスト	——				
講座概要	曜日	水曜日		日程	
	時間	10:00～11:30			
	回数	全6回	定員		50名
	開講場所	三鷹サテライト教室 7F 大教室			
講師	本学非常勤講師 永田 英理 (ながた えり)				
	早稲田大学大学院博士後期課程修了。博士(学術)。白百合女子大学非常勤講師。早稲田大学非常勤講師。専攻は近世俳文学で、松尾芭蕉の俳諧や俳論を研究。著書『蕉風俳論の付合文芸史的研究』(ペリかん社、2007年)、共著『連歌辞典』(東京堂出版、2010年)、『おくのほそ道』解釈事典— 諸説一覧』(東京堂出版、2003年)。				
内容	『奥の細道』は、日本古典のなかでもとりわけ有名な芭蕉の紀行文です。元禄2年(1689)に深川を出発し、日光・奥州・出羽・北陸路を行き、岐阜の大垣で終わりを迎えた芭蕉の5ヶ月の旅は、数年にわたって何度も推敲が重ねられて『奥の細道』という作品になりました。歌枕(昔の和歌で詠まれた名所)や旧跡を巡り、西行や義経ら歴史上の人物たちと魂を通わせながら辿る芭蕉の旅路は、時空を超えた旅でもあります。今期は木曾義仲ゆかりの多太神社から、福井までの北陸路を行います。江戸出発時からずっと同行していた曾良との別れをはじめ、旅の終わりに近づくとつれ、人との出会いと別れが繰り返される旅の展開を、ぜひ味わってください。 ※『奥の細道』のテキストを購入したい人は、角川ソフィア文庫の『新版おくのほそ道』(穎原退蔵・尾形仿訳注、平成15年刊)がおすすめです。				
	① 10月4日：これまでの行程のふりかえり・多太神社 ② 10月25日：那谷・山中 ③ 11月8日：別離 ④ 2月7日：全昌寺・汐越の松 ⑤ 2月21日：天龍寺・永平寺 ⑥ 3月7日：福井				

世界の幸せをカタチにする。  
Creating Peace & Happiness for the World



武蔵野大学

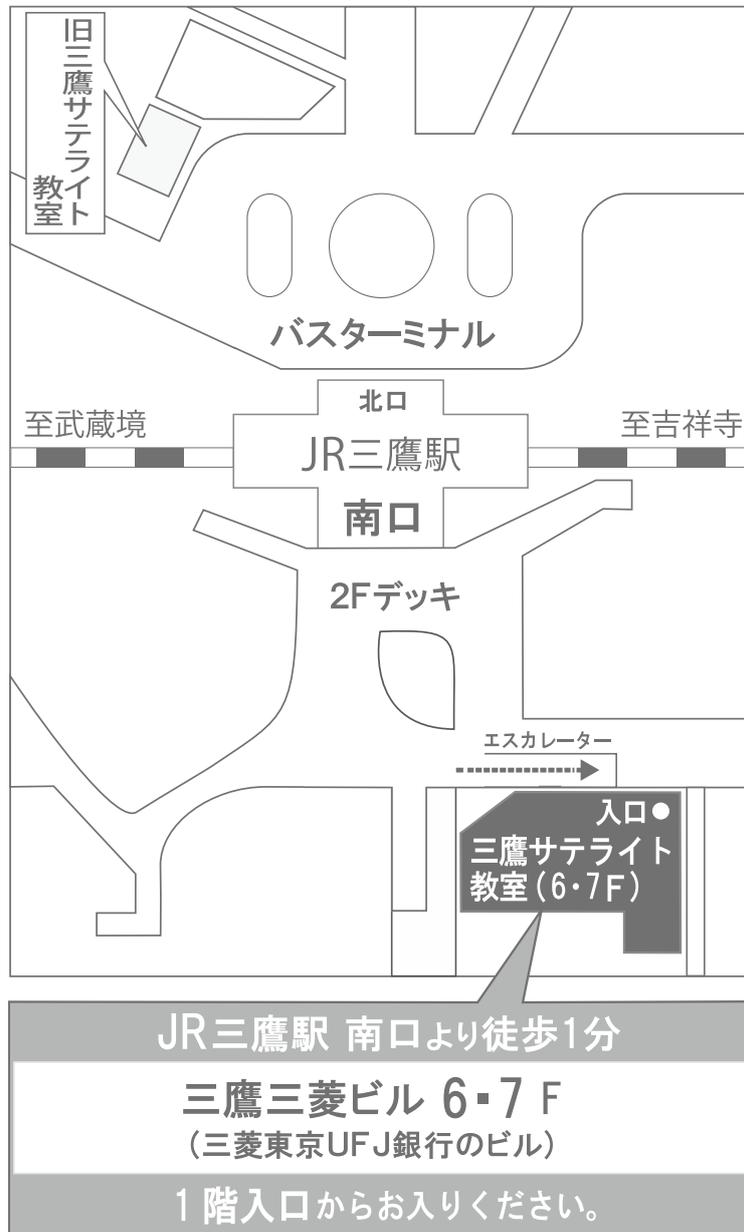
お問い合わせ TEL 042-468-3222  
FAX 042-468-3211

開室日：月～金曜日 9:30～18:00  
：土曜日 9:30～15:30 (祝日を除く)

武蔵野大学 社会連携センター

〒202-8585 西東京市新町1-1-20  
www.musashino-u.ac.jp

# 武蔵野大学 三鷹サテライト教室 平成28年3月より南口に移転



- ・ 教室は講座の15分前よりお入りいただけます。  
(前の時間に講座がある場合は教室の準備ができるまでお待ちいただくことがあります)
- ・ 教室前の机にある出席簿に○をつけてから教室にお入りください。
- ・ 生涯学習講座登録証を携帯してください。
- ・ 欠席の連絡は必要ありません。
- ・ 駐輪場、駐車場はありませんのでご了承ください。